



岩崎 議長

2月7日(水) 藤沢市・ミナパークにて『春闘勝利! 学習会・総決起集会』が開催され、地域の仲間 250 人、運輸労連から 5 人が出席した。

岩崎議長の主催者あいさつで、春闘は民も官も共に闘う。民が官の先鋒に立ち、賃金の引き上げを行う。官が後ろでしっかり支えてくれるのが、連合の、働く者の春闘だ。と力強く述べている。



阿部ともこ 衆議院議員

阿部ともこ衆議院議員による「はたらく仲間の健康を守る」講演で、冒頭、普天間での米軍による窓枠の落下事故、先日の佐賀県の墜落事故、かつて神奈川、座間の事故に触れて事故が多すぎだと、国会では日米問わず議論が必要だと強く訴えていました。

小児科医の安部ともこ衆議院議員は「当たり前命を明日に繋げる」を挙げ、長時間労働のリスクの話がありました。

「長時間労働は、『脳、心臓、心が壊れる』。いくら「自分は大丈夫」と思っている、必ずうつ病になる。『寝ないこと』がうつに繋がる。これは誰でもなりうることを強く訴えていました。防止策は「寝ること」が一番大切です。近年、若い女性の過労死が目立っている。長時間労働者の医師による面接実施率を挙げ、制度自体の認知度は向上しているが、受けたことがまだ 54.1%にとどまっている。最後に国会でも過労死について、これからも取り上げていきますと。述べていました。

記事：三葛 智也



連合神奈川・米塚副事務局長

第 2 部として、春季生活闘争勝利決起集会が行われた。まず始めに、連合神奈川・米塚副事務局長より、「連合神奈川春闘方針のポイント」の説明があった。2018 春闘の基本的方針としては 3 点が挙げられた。ひとつめに、「底上げ・底支え」「格差是正」取組みの継続、特に月例賃金の引き上げにこだわる事が挙げられた。ここ 20 年で非正規労働者が倍増している現状の改善を目指すために、賃上げの継続は必須であるとされた。ふたつめに、大企業・中小企業間の格差是正、サプライチェーン全体で生み出した付

加価値の「適正配分」が課題として挙げられた。最後に、全ての労働者が安心して働ける環境を目指す「働き方改革」を継続して進めることが挙げられた。

続いて、藤田副議長より集会宣言が読み上げられ、参加者全員の拍手により確認された。

最後に、閉会のことばが興邊副議長よりあり、団結がんばろうで締められ閉会となった。

記事：中鉢 実